

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	ステップアップ講座「森林率日本一の高知県で過ごした1年」		
開催日時	2023年 6月 22日(木)	19時15分 ~	21時15分
開催場所	ZOOMによるオンライン講座	FIC参加者	22名

今回の講師は元 FIC 会員の有光麻子さんです。高知での仕事内容や高知に関する色々なお話をして頂きました。

【1】私が高知に来た経緯（自己紹介）

有光さんは兵庫県で生まれ育ち、岐阜県の大学で林学を勉強され、その後、横浜市に住まれ東京都で働いていました。その間 FIC に入会されました。昨年高知に移り住まれ、令和 4 年 4 月から高知県庁で林業関係のお仕事をされています。

【2】私の高知生活

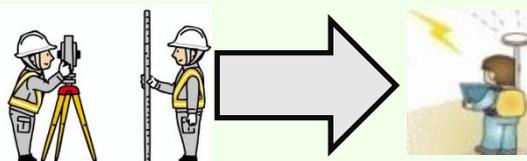
有光さんは平日は自転車で 15 分の高知県庁で働かれ、たまに県内の林業事務所や林業事業体さんのところ出張されます。土日は、龍馬パスポートのために日帰り温泉に行ったり、日曜市でお弁当を買って山に登ったり、ちょっと早起きして木曜市に寄ったりされます。



【3】私の担当業務

有光さんの業務は主に以下の 3 つです。

(1) 森林簿・森林計画図の交付：父が亡くなって山を相続することになった。道路工事を計画するので等々で必要になる森林情報の提供。(2) 森林 GIS 保守業務：森林 GIS は、今まで紙の地図上で行われていた森林の



管理を体系的に行うことを可能とし、森林業務の効率化が進みました。

(3) スマート林業支援事業補助金：かつて、森林業務での測量はコンパス測量が主でした。現在では GPS 受信機を装着し、GNSS 衛星によって位置情報を受信し、1 人で測量を行うことが可能になっています。ヒアリング等で、林業事業体の課題を確認しながら、費用補助の可能性について探ります。

【4】高知のイベント

高知県は 34 市町村。有光さんは昨年、仕事でプライベートで全ての市町村に行かれました。

(1) よさこい祭り(8 月)：今年で 70 回目。衣装、踊り、音楽、地方車など毎年作り変える。また参加は有料なので、参加者は 1 人 10 万程度の出費になる。(2) 氷室まつり(7 月 氷詰めは 1 月)：手箱山(1806m)に登り、山奥にある氷を切り出して「氷室」に運び込み、7 月に取り出します。作業後のイノシシ鍋がめちゃくちゃおいしい！(3) 土佐のおきゃく(8 月)：高知の街を会場にした、大きな宴会のようなお祭りです。大通りにこたつが並ぶ。高知では宴会のことを「おきゃく」といいます。



【5】なんとなく行ってみた高知：仁淀川にかかる沈下橋は欄干が無い。洪水時には橋面が水面下になる。渡る時は怖いです！。四万十川が「最後の清流」なら、仁淀川は「奇跡の清流」



【6】友人を案内した高知：「らんまん」のおかげで牧野植物園と佐川町は大賑わい。牧野博士の弟子の教授でさえも、「牧野先生の弟子だけあってどんな植物でも瞬時に名前を覚えてくれた」と評判。



【7】最強のスタンプラリー：龍馬パスポートは、高知県内の主な観光施設などで提示するだけで特典が受けられるスタンプラリー。スタンプが増えて行くとステージアップし、色々な特典が受けられる。とにかく高知県ではなんでも「龍馬」。高知龍馬空港。龍馬マラソン。龍馬脱藩マラソン。脱藩ウォーク

【8】高知の人って・・・

「1 万円拾ったらどうする？」香川県民⇒半分貯金して、半分飲みに行く！。徳島県民⇒1 万円全部貯金する！。愛媛県民⇒1 万円を手に飲みに行く！。高知県民⇒拾った 1 万円に、更に自分の 1 万円を足して飲みに行く！！。高知県民は何がなんでも飲みに行きたい。



【9】私がこれから高知(の森林)でやりたいこと：

高知の森林業務の効率化をよりいっそう進めて、林業振興を支援して行きたい。

【参加者の感想】参加者からは、高知の人の県民性が良く分かりました。有光さんが高知で伸び伸びと活躍されているお姿が目に見えそうです。お元気そうで何よりです。という感想が寄せられた。

FIC 講師 有光 麻子